

ロシアの研究者たちの抗議声明の紹介

2022年3月30日小松崎栄

ロシアの侵略に対して、日本AALAは勿論、世界の多くの国と人々が抗議をし、即時軍事行動の中止と撤退を求めています。その声は、政府批判や言論統制の厳しいロシア国内でもおきています。その一つが、以下の「ロシアの研究者たちの抗議声明」です。これは「東京革新懇」のFAXニュースに掲載されたものです。私は東京革新懇の代表世話人の一人ですが、発行者の許しを得て紹介するものです。

驚いたのは、なんとロシアがウクライナに侵攻したその日に出したものです。水島先生が説明されているように、早くからプーチンの意図を見抜いて準備をしていたことは間違いありません。赤字は私がつけたものです。この声明は、ロシアの侵略を肯定したり、いろいろ理屈をつけてあいまいにしようとしている論に明確な回答となる勇気ある声明と思います。心から敬意を表します。

.....「東京革新懇 mailfax ニュース」1241号（3月17日）より全文.....

ロシアの研究者たちの抗議声明

「早稲田大学 水島朝穂ホームページ 平和憲法のメッセージ 今週の『直言』3月7日」掲載の以下の文章をご紹介します。

2月24日の日付で、ロシアの研究者と科学ジャーナリストの公開書簡が、署名者全員のリストを添えて、『科学と社会』（Наука и общество）のホームページにアップされた（3月5日現在まだ見ることができる）。この戦争を始めた一切の責任がロシアにあること、この戦争にいかなる合理的な正当化事由が存在しないことを明確にするとともに、戦争を開始したプーチンの大ロシア主義について、「いかがわしい歴史的幻想によって突き動かされたロシアの指導部の地政学的野心」と断罪している。ロシアが国際的に孤立して、他国の研究者と共同研究が出来なくなっている状況への悲痛な叫びでもある。

タイミングからして、かなり前から準備されていたものとみられる。署名リストを見ると、最初の方は、ほとんどロシア科学アカデミー（РАН）の会員である。非常に多くのアカデミー会員が署名している。プーチンは、日本学術会議に政治介入した安倍・菅政権よりもずっと以前から露骨に科学アカデミーに政治介入していたから、それに対する怒りと批判も反映しているといえよう。署名者のなかには、世界各地で研究する博士課程院生なども並んでいるから、メールやSNSを使って、世界中にいるロシア人研究者に呼びかけたものと推測される。サイトには、3月5日23時現在、「署名は今も届き続けており、できるかぎり追加掲載したい（現在、7650筆以上）」とある。

ウクライナとの戦争に反対するロシアの研究者および科学ジャーナリストの公開書簡(署名の完全なリスト)

Открытое письмо российских ученых и научных журналистов против войны с Украиной (полный список подписей)
24.02.2022

2022年2月24日

我々、ロシアの研究者および科学ジャーナリストは、ウクライナ領土においてわが国の軍隊によって開始された軍事行動に対する断固たる抗議を表明する。この破滅的な一歩は、甚大な人的犠牲をもたらし、既存の国際安全保障体制の諸原則を毀損する。ヨーロッパにおいて新たな戦争を始めた責任の一切は、ロシアにある。

この戦争に対する、いかなる合理的な正当化事由も存在しない。軍事作戦を展開する口実としてドンバスの状況を利用する試みには、いかなる信用もおけない。ウクライナが、わが国の安全保障にとって脅威でないことは、全く明らかである。ウクライナに対する戦争は、不正義であり、明らかに無意味である。

ウクライナは、我々にとって親密な国であったし、今もそうである。我々のなかの多く者の親類、友人そして学術活動における同僚がウクライナに暮らしている。我々の父、祖父、曾祖父は、ともにナチズムと戦った。いかがわしい歴史的幻想

によって突き動かされたロシアの指導部の地政学的野心のために戦争を開始することは、父祖たちの記憶に対する冒瀆的背信行為である。

我々は、機能する民主的諸制度に支えられたウクライナの国制を尊重する。我々は、我々の隣人が親ヨーロッパ的選択をしたことに理解をもって接する。我々の両国の間のあらゆる問題が平和的に解決できることを、我々は確信している。

開戦後、ロシアは、国際的孤立そして逸脱者国家としての地位に陥った。このことは、我々研究者がもはや自分の仕事を通常通りに行うことはできないということを意味する。なぜなら、他国の同僚と十分に協力せずに研究を行うことなど無意味だからである。世界からのロシアの孤立は、肯定的な将来の見通しが全くないまま、わが国が文化的・技術的にさらに衰退していくことを意味する。ウクライナとの戦争、そこに進む先はない。

わが国は、他の旧ソ連構成共和国とともにナチズムに対する勝利に決定的に貢献したにもかかわらず、いまではヨーロッパ大陸における新たな戦争を引き起こした張本人となってしまったことを、我々は痛苦の思いで自覚しなければならない。我々は、ウクライナに対する一切の戦闘行為を直ちに中止するよう要求する。我々は、ウクライナ国家の主権と領土的一体性を尊重するよう要求する。我々は、我々が両国のために平和を要求する。